

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 17 回 自治区制度等行財政改革推進特別委員会記録

日 時 平成 27 年 9 月 30 日 (水)
 15 時 03 分 ~ 15 時 35 分
 場 所 全 員 協 議 会 室

【委 員】牛尾博美委員長、田畑副委員長
 岡野委員、柳楽委員、串崎委員、森谷委員、上野委員、笹田委員、布施委員、
 芦谷委員、澁谷委員、西村委員、牛尾昭委員

【議 長】原田議長

【委員外議員】

【執行部】近重副市長、石本教育長、植田総務部長、砂川地域政策部長、埴財務部長、川
 崎健康福祉部長、宮崎市民生活部長、中村産業経済部長、下垣都市建設部長、山本教育
 部長、河上消防長、山本上下水道部長、大島浜田地区広域行政組合事務局長、吉永金城
 支所長、細川弥栄支所長、斎藤三隅支所長、前木総務部次長(総務課長)、河野財務部次
 長(財政課長)、古森人事課長、坂田行財政改革推進課長

【事務局】三浦局長、鎌原書記

議 題

(報告事項)

1 浜田市行財政改革大綱(素案)について

2 その他

【会議録】

(開 議 15 時 03 分)

牛尾博美委員長

第 17 回自治区制度等行財政改革推進特別委員会を開会します。
ただいま出席委員は 13 名で定足数に達しています。

1. 浜田市行財政改革大綱(素案)について

牛尾博美委員長

執行部から浜田市行財政大綱の素案についての報告を受けたい
と思います。執行部より説明をお願いします。行財政改革推進課長。

行財政改革推進課長

(以下、資料をもとに説明)

牛尾博美委員長

説明が終わりました。委員から質問や意見等があればお願いしま
す。今配って貰ったばかりでなかなか目を通せないでしょうが。今
修正された部分だけでなく、他の部分についても意見があれば承り
たいと思いますが。澁谷委員。

澁谷委員

業務量を徹底的に減らすという発想がないと、行革にならないの
ではないかと思っています。1 ページなんか、定員適正化計画に基
づく定員管理、総人件費抑制を図っていくとあるけど、それ以上の
早さで人口が減少していて、今日の全員協議会の時にも、総合振興
計画ではこれから 10 年でまだ 6,000 人減る予想になっていますよ
ね。そういう状況を総合計画でやっているなら、行革で 1,000 人あ
たりの職員ベースはどのように持っていくかを明確にすべきだと思
います。当然議員の側も考えていかなければいけないんだろうけ
ど、職員については。そうしないと何が何やらさっぱり分からない。
行革で精度の高い組織体を活性化するためには、人事評価というも
のが絶対必要だと思っているんですけど、その辺に対する切り込み
というか、最低の人事評価もなく成果が出るんだろうか。

10 ページには「スリムな行政の構築」という言葉があります。言
葉としてはよく見るけど、元気な浜田ということでこの 2 年間、組
織のスリム化よりも放漫経営になっているでしょう。そうじゃない
んですか。そのために住民福祉が後退しているんですよ、僕はこの
2 年間そうだと思っているんですよ。国民健康保険料も値上がるし、
水道料も値上げの話が出ているし、生活しにくくなっているじゃな
いですか。行革は行革のための行革じゃないんですよ。市民の幸
福の実現のために行革するんだから。その辺の所が、どこかにある
行革の大綱をそのまま持ってきたような形になっているんじゃない
かと。浜田市における現状課題を分析していったって何が一番大事か。
だから簡単に職員数を減らすことは絶対あり得ないわけですよ、
そのためには業務量を減らさないといけないし、そのために議会側
に対して……この印刷物なんかも議会でも検討しているように、ペ
ーパーレス化していくんだということも当然ありながら業務を減
らしていくとか、何か見えにくいなというのが素朴な感想です。答
えられないと思いますが。

総務部長

澁谷委員からのご指摘はいつもいただいている所です。まず一つ一つのことにしてお答えさせていただくと、人口 1,000 人あたりの指標というのは以前は国も類似団体等の数字を示し、定員適正化計画等ですって言っていました、最近国からの指導は現状無いで業務量を見ながら人員配置をさせていただいています。また浜田市については、今定めている定員適正化計画の着実な実行を図っているところです。

人事評価についても以前説明させていただいたように、平成 28 年度からは国においても人事評価をしていくことになっているので、浜田市についても人事評価をスタートして、これの処遇反映も始めていきたいと思っています。

総論で言われた「元気な浜田のために今は行革になっていないのでは」というご指摘については、ある意味おっしゃるとおりだと思っています。市長が常々言っていますように、今は投資する時期だと捉えています。

ただ、行革はその部分だけでは計画は作られませんので、その辺を加味しながら、途中でも入れているように現状で新規事業を何かする時について代替案のようなものを入れながら、行革分けをこの視点で進めていくつもりであり、そのようなことを大綱の中で謳わせてもらっています。

今おっしゃった具体的な内容については、今進めている実施計画の中で個々について具体的な施策を練っていききたいと思います。

牛尾博美委員長
芦谷委員

他に。芦谷委員。

先ほどの澁谷副議長の意見にも関連するんですが、10 ページ以降に方向性があるんですが、なかなか具体的にイメージ出来ません。例えば自治区制度が 11 ページに載っているんだけど、早い話が、スリムな行政サービスとなれば当然 NPO や民間や市民というのがあるんです。福祉で言えば高齢者関係について出来る部分は町内自治会でやってもらうという方向があります。そういったものがここに全く無く、ただ言っただけで殆ど職員減くらいしか出てこないで、もっと住民が主体的になるような方向性を出してもらって、それによって行政が抱えている直轄部分について削減するというのを、全部しなくて良いんだけど方向性の切り口くらいは出ないとイメージしにくいと思いますがいかがでしょうか。

総務部長

10 ページ以降の、二つのテーマと四つの柱の所で芦谷さんがおっしゃった分については、大綱の中で記載出来る分については記載させていただいているつもりです。先ほども申しましたが、この大綱をもとに今から実施計画を練っていくつもりであり、その実施計画策定にあたっては今まで過去 10 年間やっていた実施計画と同じ形で、一つ一つの事業あるいは課題について実施計画の中で目標を定め、進捗管理しながら進めていきたいと思っています。これは一応、

大綱という位置づけなので現状で出来る限りの言葉は入れたつもりですが、またこれ以外のご意見については今後パブリックコメントもしていくので、そこでいただいたご意見とも合わせながら、入れられる分については検討していきたいと思います。

芦谷委員
牛尾博美委員長
牛尾昭委員

分かりました、よろしくをお願いします。

良いですか。牛尾昭委員。

昨日、行革委員会を傍聴しました。市民各層から色んなご意見が出て非常に参考になりました。結論から言えばこの大綱の素案修正案については、実施計画の中で我々が申し上げたことはしっかり書きこんでもらうことを条件に、僕はこれで良いと思います。

牛尾博美委員長
森谷委員

他にないですか。森谷委員。

先ほどの澁谷委員の話を聞いていて思ったんですが、人口が減ってきていますね、だいたい1年に1パーセントくらい。ということは減れば支出が少なくなる部分もあると思うんですよ、悪いことばかりではなく。それが明確になっていないと思います。人口が減ることによって変わらないもの、人口が減ることで減っていくものというのを明確にする必要があると思います。最低でもそのくらいは。固定費と変動費ですね。経営では変動損益計算と言うのですが。

それと多分行革の会議だったと思うんですが、市民の人の参加する。ネットで色んな委員会や議会を公開しろという声が出て、三浦局長が何とかを目途に予定していますということと言われたと思うんですが、そういうことについてはどこかに書いてあるんでしょうか。

総務部長

人口減少による固定費と変動費の書き方については、後で財務部長からお答えさせていただきます。以前あった行革推進委員会で、確かに市民の推進員の方からそのような意見をいただいています。議会側で検討されているということも聞いていまして、今日もあったと思いますが、その辺で前向きに検討されています。この中にはその部分について具体的に記入はしていませんが、必要があれば実施計画の中でやっていくことになると思います。具体的にそれが項目出しに上がるかどうかまでの詰めは、今の所していません。

森谷委員

その人が「発言したのに私の言ったことは書いてない」と言っておられました。だからちゃんと折り込んであげてくださいよ。意見の選り好みをする必要がある所だとは思えないので。

総務部長

それ以後、推進委員会を何度かやっていますが、直接推進委員会の場ではそういう発言は伺っておりません。

財政部長

森谷委員から、固定費・変動費のご指摘が最初にありました。確かにそういう部分で着手するのは重要な視点だと思います。特に固定費でいくと公共施設の再配置計画で、施設はもう作ってしまっているんです。その施設というのは人口6万や7万規模の時に作った施設で、それが人口がどんどん少なくなって、私なんかよく言うん

ですが、小学校や中学校の空室率が高くなる。それだけ使っていないんだと。しかしそれだけの減価償却というか経費はかかってしまう。だから満足度が落ちていく。もう一つ、歳出の面で言うと何を指摘して、じゃあ人口が少なくなって生活保護費が少なくなるのかということをお願いんですが、実は浜田市の場合は高齢化人口が異常に高い。特に75歳以上の人1万人いる。80歳以上の人7,000人以上。医療費・介護・福祉部分で莫大な金がかかる。だから落ちないんですよ、逆にどんどん増えていく。人口は少なくなっていくんだけど、65歳以上で34.1パーセントいる、その率があまりに高いために、扶助費がどんどん増えていくんです。だからその辺の視点も持たなければいけない。人口が歪な形になっていることは認識してもらって、昔の人口減とは大幅に違うんですよ。昔に人口が少なくなった状況とは全然違います。34.1パーセントになったという異常事態です。

そのことをしっかり認識してもらわないと、まだ高齢化率が十数パーセントや20パーセント前半の話をしてもらっては、固定費と変動費の出し方が全然違ってきます。その辺のことをしっかり認識するのは重要な視点だと私も同感しています。

森谷委員

そんなことは解決するのは簡単な話で。増加する経費をもう1本繋げれば良いだけ、引っ張り出せば良いだけです。そんな力を入れて、難しいだ違うだと言われるほどのことじゃありません。何なら私が手伝ってあげますよ。

牛尾博美委員長
串崎委員

串崎委員。

考え方自体があまり分かってない点もあるんですが、6ページについて。このグラフご存知のとおり平成30年からずっと赤字が続いて平成33年には11億の赤字となっているのは分かります。今の状態で行けばこうなるんだろうということは分かりますが、私が思うにマイナスになったらこの11億円をプラマイゼロにするためにはどのような施策があるのか、そこが一番大事な気がします。ただ漠然と「これはこうなるんだ」という形で出ているので、こうなるからこれをやってプラマイゼロにするんだろうという点が全く無い気がしたり。それはこれにかかるべきものかも分かりませんが、ちょっと疑問に思いました。

総務部長

ただ今のご指摘ですが、先ほどから何度も言っていますように実施計画の中で項目の洗い出しをして、その中で効果額が20億円になるような形で洗い出しする作業をしている所です。この数字になるように実施計画は策定していかなければならないと思っています。

お断りしておきたいのは、これは平成26年度の中財の数字であり、今度12月議会中には27年度の中財の数字が示されるだろうと思いますので、実施計画はその数字をもとに作る予定です。

牛尾博美委員長

よろしいですか、はい。パブリックコメントはいつだと言った。

その後、12月議会に提出、提案ということで……。課長。

行財政改革推進課長 委員長からご質問いただいた件ですが、資料3をご覧ください。本日の特別委員会でこういう形の修正案ですというのをご確認いただいた後に、パブリックコメントを明日10月1日からかけようと思っています。これでご意見を聴取した後に委員会から答申をいただき、また行財政改革推進委員会で最終的にご審議いただいて、本会議へ報告する流れを考えています。

牛尾博美委員長 ちょっと訊いてみるんですけど良いですか。パブリックコメントするんですけど、このような形と言っても全然内容が見えずに市民は回答するわけですか。どういった形で……。

行財政改革推進課長 内容についてはこの大綱の修正案、素案をご提示させていただき、これについてご意見を頂戴するよう考えています。

牛尾博美委員長 皆さんのお手元に訂正分と修正案が行っていますが、熟読する時間もちょっとなかったと思いますが、今日の所はこの部分で終わらせていただいて、議会も今日終わったことですのでまた少し見ていただいて、これにもうちょっと夢や希望を持たせるような……実施計画というのは当然出てくるんですが、様々な意見をこれから聞くことにして、機会が持てれば特別委員会を開催して論議することにして、今日はこれで置こうと思いますが如何ですか。

(「はい」という声あり)

では、10月1日からパブリックコメントに入るそうですので、皆さん方も手渡した物も含めてしっかり勉強して、次の機会に意見を言っていたらと思います。

以上で本日の委員会を終了します。

(閉 議 15時35分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

自治区制度等行財政改革推進特別委員会 委員長 牛尾 博美 ㊟